

# ふるる風流々

編集・発行 乙訓福祉施設事務組合 乙訓若竹苑  
〒617-0813 長岡京市井ノ内西ノ口 17-8  
TEL 075-954-6501 FAX 075-954-6588  
Mail otsufukuwakatakeen@lake.ocn.ne.jp

～第39号～

今年もあとわずかとなりました。

振り返ると、どの人も「新型コロナウイルスが・・・」となり、その影響で生活が大きく変わっ  
たと思います。

乙訓若竹苑も例外ではなく、行事の中止や感染予防対策など様々な場面で影響があります。

今回は、どのような感染予防をしているか、コロナの影響で若竹苑での支援やそれに伴い利用  
者の生活にどのような変化が起きたのかをお伝えしたいと思います。

## 若竹苑での感染予防対策

### 1. 検温

利用者さんは施設を利用される際に、職員は出勤前に、必ず検温をしています。利用者さんの検温をする際、身体的  
接触を避けるため、新たに非接触型検温器を導入しました。当初、『銃で撃たれているみたいだ。』と抵抗感ある方も  
おられましたが、今では皆さん慣れてこなされています。

### 2. アルコール消毒

必要あるごとに、必ず消毒・除菌をしています。例えば、継続では作業前、生活介護や地域活動では畑や缶漬などの  
作業後に、利用者さん・職員共にアルコール消毒をしています。また、作業で使った机等にも除菌をしています。そ  
して、昼食前には利用者さん・職員共にアルコール消毒をしています。

### 3. マスクの着用

利用者さん・職員共に、苑内ではマスクを着用しています。当初、マスクに抵抗がある方もたくさんおられましたが、  
今では常時着用することにも慣れてこなされています。更に、マスク着用を忘れてしまうと、利用者さん同士でも「マスク  
しいや。」と声を掛けあえるようになりました。

### 4. 空気の入れ替え

可能な限り窓やドアを開放し、換気をしています。夏場の暑い時期や冬場の寒い時期も、エアコンを入れながらドアや  
窓を開けることで、空気の入れ替えを図っています。送迎などの際も、窓を少し開けて換気を怠らないようにしてい  
ます。

※来苑された方には、検温と消毒をお願いしていますので、ご協力をお願いします。

# 若竹苑での過ごしの変化

## 就労継続支援B型

就労継続支援(B型)事業では受注している下請け仕事(文具用品の封入や電気部品の組み立てなど)が2月頃あたりからコロナの影響で作業が減少しました。しかし、食品関係は市場の需要が大きいいためか、時期によってはコロナ以前と横ばいか、多くいただいている状況となっています。一方で、今年度4月以降、外部(施設)の清掃作業がコロナ対策のために中止となっており、昨年度から清掃作業に従事していた人は苑内作業が中心となっております。当初は慣れない作業に戸惑いが見られた人もいましたが、半年が経過した現在では、作業の分担についてもスムーズになっています。このような状況の中で利用者さんたちにどう思うかを聞いてみると、清掃作業に行っていた班の人たちは「苑内作業に慣れるまで、少し大変やった」「工賃が減った」「清掃作業にはいつ行けるのか?」といったような清掃作業再開を待ち望む声がたくさんあがりました。一方で清掃班以外の人たちは「(作業場の人が多くなり)賑やかになった」「雑談などが多くなった」「納期が短い仕事は人海戦術を取れるので助かっている」などの意見が出ていました。



コロナの流行については一進一退の様相ではありますが、一日も早い終息を願うばかりです

コロナの流行については一進一退の様相ではありますが、一日も早い終息を願うばかりです

## 生活介護

生活介護事業ではコロナウィルス流行の拡大によって活動内容が大きく変わりました。

1つは外での活動(ウォーキングや買い物、販売など)が極端に少なくなりました。そのため、製品作りや創作の活動、余暇活動(卓球バレーや棒サッカーなど)の時間がとても増えました。今は、感染対策をしっかりとって若竹苑周辺を歩くなどして運動不足解消にも力を入れています。

2つ目は、製品作りの時間が増えたことにより、ぬいぬいシリーズの新商品『ぬいぬいマスク』を、ぶらり嵐山で販売することができました。すると、好評で店員さんのおすすめ品として置いてくださいました。

また、「若竹苑の商品だけを置いた企画展を作って店頭においてみませんか…」との優しいお声掛けもあり、8月は全事業の商品を店頭においていただけました。企画展は終了しましたが、皆さんも嵐山に行かれた際は、ぜひ「ぶらり嵐山」に足を運んでみてください。



## 就労継続支援B型

### マルシェバッグ



### 1. おおきなマルシェバッグ

### 2. ちいさなマルシェバッグ

### 3. お弁当が入るマルシェバッグ

### 4. お弁当が入るマルシェバッグ (無地)

3サイズ、4種類のマルシェバッグです。1～3は「ベンガラ染め」を施した生地を使用しています。「ベンガラ」とは、土から採れる酸化鉄を利用した顔料で、変色しにくく耐候性があることが特徴です。自然由来の顔料で作られた色合いをお楽しみいただけます。



### 生活介護

#### 「ぬいぬい」マスク

出来ること、得意なことから...

利用者さんが好きな糸、好きな布へ自由に縫われ面白い模様、可愛らしい模様ができます。

カタカタカタ...

ミシンの音も弾んでいます。

#### 「ぬいぬい」とは？

それは、ミシンが得意な利用者が自由に好きなように縫ったことがはじまりです。

できあがったものに職員が「良いやん！」と称賛すると更に楽しく縫い始めました。できあがった時、「でけた～。ぬいぬい！」と言ったひとことで、「ぬいぬい」は生まれました。

「ぬいぬい」シリーズは、縫った人の「かわいい！」や「おもしろい！」の思いが詰まった、色も模様もひとつとして同じものがないオンリーワンの商品群です。

### 地域活動支援センター

主にかわいい柄物のマスクを製作・販売しています。

ご要望ありましたら、おとな用とこども用を同じ柄で作ることもできますので、ぜひご相談ください。

※親子ペアマスクもできます!!

## ちいさかつどうしえん 地域活動支援センター

地域活動支援センター事業では、令和2年度4月から毎週土曜日に「ふれあいサロン」を開始しました。

4月当初は、数人の利用でしたが、徐々に利用者は増えてきています。新型コロナウイルス等の感染対策は、各プログラム毎に合わせて、消毒の徹底等、おこなっています。

### 5月～8月「夏野菜を植えよう」

全3回シリーズのプログラムで、1回目はナスとキュウリの苗植え、2回目は肥料を撒きと支柱を立て、3回目は育った野菜を収穫しみんなでみそ炒めや浅漬け等作って美味しく頂きました。地域のボランティアの方に指導してもらいながら、新鮮な良い野菜を作ることができました。

### 7月11日「カップケーキを作ろう」

カップケーキ作りでは、プレーン味とチョコレート味の2種類を用意し、お好みの味を選んで頂きました。どの行程もワイワイと楽しく会話しながら取り組まれていましたが、中には調理が得意でなく、少し離れて眺めておられる方もおられました。しかし、参加者同士「ボウルが動かないように持ってて」「混ぜるの交代して」など声をかけられ、みんなで協力して作ることができました。調理は人気のプログラムの1つです。

### 9月11日「YouTube観賞会」

乙訓福祉施設事務組合の大会議室を借りて、プロジェクターやスピーカーを使用し大画面で、迫力ある音や映像を楽しんでもらえるよう設定しました。リクエストは、主に、アニメソングや懐メロ、アイドルのミュージックビデオなどバラエティ豊かでした。



## お知らせ

### 「生活介護より」

この度、事業開始当時から、アルミ缶と牛乳パックの回収をしてきましたが、令和2年12月末をもちまして牛乳パックの回収は終了させて頂くことになりました。

ご協力頂いた皆様、今まで本当にありがとうございました。なお、アルミ缶回収については、引き続き行いますので、ご協力、よろしくお願い致します。